

岩手県 FA キッズエリートプログラム 2019

奥州スクール 写真館

開催期間：2019年5月4日～2019年10月19日 土曜日10回・交流会2回コース

会場：胆沢川桜つつみ広場

主旨：キッズプログラムを通じ、サッカーと出会い好きになった子どもたちの発育発達にあった良い環境と適切な指導を行う事を目的とする。

主催：公益社団法人岩手県サッカー協会

参加者数：47名（5月5日現在）

各クラス定員22名⇒定員満たないクラス6月30日まで延長受付しております。

クラス 年中クラス 3名 / 年長クラス 4名 (活動時間 8:50～9:40)

小学1年生クラス 16名 / 小学2年生クラス 6名 (活動時間 9:50～11:05)

小学3年生クラス 9名 / 小学4年生クラス 9名 (活動時間 11:15～12:35)

指導スタッフ：JFA 公認キッズインストラクター、JFA 公認キッズリーダーほか

平澤薫 (奥州スクール責任者)、瀬谷圭太、藤原一裕、佐藤梢、佐藤洋充、日野杉武文、八重樫雅斗 ほか

開会式の様子



岩手県サッカー協会 郷右近浩 副会長あいさつ

活動のようす







【活動するにあたって】

奥州スクール責任者 平澤薫コーチ コメント

今年度のキッズエリートプログラムもとても良い天気の中、スタートいたしました。今年で 14 年目を迎えたキッズエリートプログラム奥州スクールも各クラスともたくさんの子供達の参加申込みをいただいております。有難うございます。初日にふさわしく、子供達は始まりのご挨拶からとても元気よく、練習にも積極的に取り組んでおりました。この 1 年もこのプログラムを通じて、「サッカーがもっともっと好きになった」(または運動が好きになった)、「サッカー(運動)で出来なかった事が前より出来るようになった」など少しずつでも子供達なりに自分の成長を感じられるような体験をたくさん出来ればと考えております。また普段から皆が元気に楽しく取り組めるようコーチも一緒に盛り上げていく事と元気にご挨拶、後片づけもできるよう働き掛けていきたいと思っております。

最後に今年度は、合言葉として6つの「あ」を忘れずに取り組んでいきます。

あ・・・あいさつ (あいさつがきちんと出来るようになろう)

あ・・・アイコンタクト(相手の目を見る。話を聞くと話するとき、またサッカーの中で)

あ・・・握手(あくしゅ) (お友達、また自分に関わる人とあくしゅをしよう！)

あ・・・ありがとう！ (お友達、自分に関わる人に感謝の気持ちを忘れずに！ ありがとうを言おう！)

あ・・・相手を意識する！ (仲間想う事、関わる皆さんへの感謝の気持ちを忘れずに！)

あ・・・あきらめない！ (何事も一生懸命取り組むこと！)

10 月まで、今後とも宜しくお願い申し上げます。

キッズ委員会委員長 瀬谷圭太コーチ コメント

素晴らしい天候の中、14 年目の岩手県サッカー協会キッズ委員会エリートプログラム奥州スクールが始まりました。

5 つの「あ」

あいさつ

アイコンタクト

あくしゅ

ありがとう

あきらめない

(大人としては、6 つめとして「相手意識」)

ということを特にも意識して指導を行いました。

もっとサッカーをしてみたい、楽しみたい！という子どもたちのために環境を作っています。

今回はユースダイレクターの鳴尾さんにも参加いただきました。「皆さんの夢は何ですか？」の問いに、子どもたちは「サッカー選手！」と答えていました。

子どもたちの夢を応援することが私たちの責務。子どもたちが夢を持ち、その夢に向かって頑張る環境をしっかりと整えていきたいと改めて思いました。

全 10 回コース(プラスして紫波町での 2 回の交流会で合計 12 回)を通して、サッカーを楽しみ、友達と一緒に運動する楽しみを味わい、賢く優しくたくましい子どもたちの育成に寄与したいと思っております。